

◆ 墨田都税事務所長賞 ◆

「税金を正しく使うために」

墨田区立吾嬬第二中学校 3年 李 敏菁

「税金の無駄遣いをしたくなければ、物を大切にしてください。」学校で行われた租税教室で税理士の方が最後に言っていた言葉だ。

はじめにこの言葉を聞いたとき、私はどういう意味なのかよくわからなかった。

租税教室のあと、以前に傷がある机を交換する様子を目にしたことを思い出した。何気なくその光景を見ていたが、ふと疑問に思ったことがあった。「学校の机って、いくらするんだろう。」

家に帰り、早速調べてみた。すると、机と椅子合わせて約二万円であることがわかった。それほど驚く金額ではなかったが、これを生徒全員分揃えとなると莫大な金額になる。

他の備品の値段も調べてみた。黒板消しやチョークなど比較的安価なものもあったが、黒板は約二十万円、跳び箱は約十一万円、体育館のどん帳は約三百万円などと、想像よりも高価で驚くものもあった。

では、このような備品は誰が支払っているのだろうか。それこそが「税金」であると気が付いた。

学校の備品だけではない。外に出てみれば道路や街灯、公園や役所、ゴミの処理、さらには救急車や消防車など、税金によって賄われている物で溢れているではないか。

物や施設に限らず、警察官や教師などの公務員の給料、年金や医療などの社会保障も税金で賄われている。

調べ終えたところで、「もし税金がなかったら」と考えると恐ろしくなった。同時に、税金は、私たちの「豊かな生活」のためにあるのだと気が付いた。

ここで初めて、税理士の方の言葉の意味と結びついた。物を雑に扱い、壊してしまえば当然買い替えたり修理したりしなければならぬ。その費用はもちろん、私たちの納めた「税金」から支払われる。税金というのは私たちの「豊かな生活」のためにある。だから物を大切にしてくださいという意味なのだ。

ところが、SNSやニュースなどを見ていると、「税金の無駄遣いをするな」などといった批判的な意見が多く見られる。実際、私たちが納めている税金なのだから、多くの人が「正しく使われるべき」と考えているはずだ。しかし、税理士の方の言葉を思い出すと「税金の無駄遣い」は私たちにも関係のあることなのではないだろうか。

今まで私は、税金を「納めている」という意識が強かった。さらに、「税金を無駄遣いしている」などと聞くと、正直「払いたくない」と思うこともあった。しかし、税金を正しく使うためには私たちも行動をしなければならない。「物を大切にすること」が税金の無駄遣いをしないことに繋がるのだ。

今後は、税金は豊かな生活のために納めているという意識をもち、税金が正しく使われるよう物を大切に扱っていきたい。このような積み重ねが、豊かな社会を作っていくのだ。